

本件配布先（佐渡市）→佐渡市記者クラブ 他
（筑波大学）→筑波研究学園都市記者会
（新潟大学）→新潟県政記者クラブ

本送信票を含む5枚



筑波大学
University of Tsukuba



新潟大学
NIIGATA UNIVERSITY

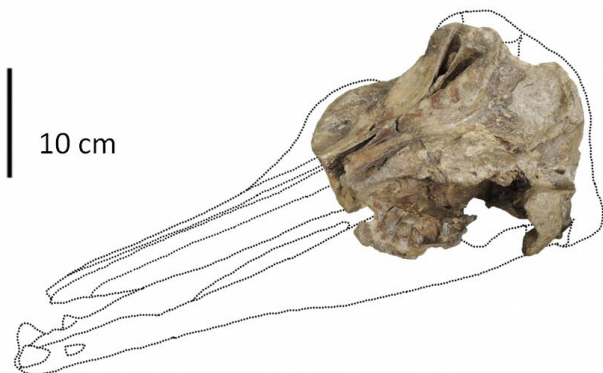
令和4年11月1日

PRESS RELEASE 報道関係者 各位

佐渡市〔新潟県〕
国立大学法人筑波大学
国立大学法人新潟大学

新種ツチクジラの和名が「サドムカシツチクジラ」に決定！
佐渡市小木堂釜から見つかった世界最古のツチクジラ属化石

学名：*Berardius kobayashii*
和名：「サドムカシツチクジラ」



佐渡で発見された化石の
新種ツチクジラに対して和
名を募集し、179件の応募
の中から「サドムカシツチ
クジラ」に決定しました。

新潟大学の故 小林 巖雄 教授の研究グループによる研究から始まり、筑波大学の川谷 文子 大学院生（現 飯田市美術博物館 学芸員・博士（理学））と同大生命環境系教授（連携大学院）の甲能 直樹 国立科学博物館地学研究部生命進化史研究グループ長が更に最新の系統学的研究を行い、確認、発表されたものです。発表された論文は、別添のとおりです。

この新種で世界最古の貴重な化石の和名を募集したところ、179件、138作品の応募がありました。研究された川谷氏と甲能氏、新潟大学旭町学術資料展示館 丹治 嘉彦 館長、渡辺 竜五 佐渡ジオパーク推進協議会長（佐渡市長）、相田 満久 佐渡ジオパーク推進指導員の5名が選考委員となり審議した結果「サドムカシツチクジラ」に決定し、9月17日（土）の和名発表会でお披露目されました。

本標本は、長らく新潟大学理学部サイエンスミュージアムと新潟大学旭町学術資料展示館にて公開されていました。現在は、佐渡博物館（佐渡市）の標本として登録・保管され、そのレプリカが佐渡博物館に展示されています。

お問合せ先

<研究に関すること>

【佐渡市教育委員会 社会教育課 ジオパーク推進室】
推進指導員 相田 満久 (あいだ みつひさ)
電話 : 0259-27-2162 FAX : 0259-58-7357
E-mail : sado-geopark@city.sado.niigata.jp

【飯田市美術博物館】
学芸員 川谷 文子 (かわたに あやこ)
電話 : 0265-22-8118 FAX : 0265-22-5252
E-mail : ic4608@city.iida.nagano.jp

【独立行政法人国立科学博物館】
地学研究部・生命進化史研究グループ長
甲能 直樹 (こうの なおき)
電話 : 029-853-8901 (代) FAX : 029-853-8998
E-mail : kohno@kahaku.go.jp

【国立大学法人新潟大学 理学部 理学科】
教授 松岡 篤 (まつおか あつし)
電話 : 025-262-6376 FAX : 025-262-6376
E-mail : amatsuoka@geo.sc.niigata-u.ac.jp

<広報に関すること>

【国立大学法人筑波大学 広報局】
電話 : 029-853-2040 FAX : 029-853-2014
E-mail : kohositu@un.tsukuba.ac.jp

【国立大学法人新潟大学 広報室】
電話 : 025-262-7000 FAX : 025-262-6539
E-mail : pr-office@adm.niigata-u.ac.jp